

学校図書館活性化ソフト

情報BOX ライブラリースーチ

Version7.5

ファーストステップガイド
インストールガイド



こどもを、みらいを、考える。

教育システム

<http://www.gakkou.jp>

2025/07/14

目次

動作運用環境	4
対応 OS	4
ローカルコンピュータでの権限について	4
ディスプレイ	5
プリンター	5
バーコードリーダー	5
ネットワーク	6
バックアップ装置	6
書店等とのファイル利用/蔵書データテキスト読み込みについて	6
運用形態の確認と多様性	7
UAC 等無効化について	7
セットアップと起動	10
1. はじめて情報 BOX をお使いになるお客様	11
2. 今まで情報 BOX をお使いのお客様	11
2.1 VER.7 の場合	11
2.2 Ver.6 の場合	12
2.3 Ver.5R2/R3 の場合	13
2.4 Ver.5 R1 の場合	14
2.5 VER.4.5 の場合	15

3. 新規インストール 1 台のコンピュータで運用する場合	15
4. Ver.7 からのアップグレード	17
5. Ver.7 からのデータコンバート	18
6. Ver.6 からのアップグレード	18
7. Ver.6 からのデータコンバート	19
8. インストールの確認	20
9. インストール後設定	21
ログイン画面	21
JBOX 運行管理プログラム	23
自動起動について	24
バックアップファイル自動転送について	24
バックアップファイルの自動転送ルール	26
削除されるファイルのルール	26
ネットワーククライアント追加の設定	27
複数台利用時の、親機ファイアウォール設定	28
ライブラリーサーチ同期設定	34
jBoxLuncer の設定	34
情報 BOX の設定	34
情報 BOX のアンインストール	35
お問い合わせ先	37

インストールガイド

動作運用環境

対応 OS

Windows 10, Windows 11, Windows Server 2016, Windows Server 2019, Windows Server

2022（いずれも 64bit 版に限る） ※WindowsUpdate を常に最新にする設定であること

- ・ インターネット接続環境であること
- ・ PostgreSQL がインストールされていないこと。
- ・ ユーザーアカウント制御を無効にすること。
- ・ ローカルの管理者でインストールを行うこと。
- ・ クライアント&サーバ運用の場合、親機ファイヤーウォールの受信規則に 5432 ポート（TCP）受信許可を追加すること。
- ・ 帳票の Excel 保存機能を使用する場合は Microsoft Excel がインストールされていること。
※M365・ストアアプリ版 Office は非対応

最新情報は弊社 web サイトでご確認ください。

<https://www.gakkou.jp/>

ローカルコンピュータでの権限について

1. インストール時

管理者権限がなければインストールできません。（ドメイン管理者ではなくローカル管理者です。）

2. 自動バージョンアップ

管理者権限、制限ユーザーどちらでも運用可能です。

高度なセキュリティを施した場合は、制限ユーザーで運用できない場合もあります。高度なセキュリティの環境下でお使いの場合はコンピュータのセキュリティ管理者にご相談ください。

3. 情報 BOX 操作

管理者権限、制限ユーザーいずれでも動作しますが、管理者権限での運用を Microsoft も推奨しております。また、インストールフォルダへの書き込み権限が必須となるのでご注意ください。

4. 自動バックアップ

情報 BOX では自動バックアップ機能が設定できます。情報 BOX ランチャから設定してください。この場合は「保存先のディレクトリ」に書き込み制限が必要です。ネットワークドライブを利用するときは権限に特に注意してください。

ディスプレイ

256 色以上、1,024*768(XGA)以上の解像度であること。

OS 既定の dpi で運用すること。

プリンター

OS 対応の A4 以上プリンター(カラープリンターを推奨)であること。

バーコードラベルの印字にはレーザープリンターまたは GEL JET プリンターであること。

図書専用プリンターを設置不可能な場合、PDF プリンター(ソフト問わず)のインストール及び PDF ファイルをプリント可能な PC に移動する手段を設けること。

バーコードリーダー

PS/2、USB 接続等、キーボードインターフェースで使用可能であること。

CODE39 および NW-7 を読み取り可能であること。

読み取り幅が 50mm 以上であること。

CR 付加設定が可能であること。

スタート／ストップキャラクタ非送信設定が可能であること。

貸出返却ワークシート使用時は、読取りバーコード桁数の最小読取桁数の設定を 4 桁以上に設定可能であること。

※情報 BOX は、弊社推奨品以外のバーコードリーダーでも使用可能ですが、上記設定をお客様で設定いただく必要がございます。（設定方法はメーカー様にご確認ください。）弊社推奨品以外のバーコードリーダーの設定方法をお問合せいただきましても、ご回答いたしかねますのでご了承ください。

ネットワーク

MARC ダウンロード、システムバージョンアップ機能を利用するにはインターネットの常時接続が必要です。追加ライセンスを購入されたクライアントサーバー利用時には TCP/IP 接続が必要です（詳しくは 17 ページをご覧ください）。

TRC 社の TOOLi-S、日書連 MARC 利用およびオプションのライブラリーサーチ利用にはインターネット接続が必須です

別紙インターネット接続要件を満たしていることが必要です。

https://www.gakkou.jp/items/data/dl/Internet_Requirement.pdf

※ インターネット接続は http 通信です。学校の環境によって PROXY サーバーの設定が必要な場合があります。またコンテンツフィルタリング（有害ページ排除）設定により通信が出来ない場合があります。教育委員会や校内のシステム管理者にお問い合わせください。

バックアップ装置

4 GB 以上保存可能な外部記憶装置必須（USB メモリーや HDD ドライブ等）または認証後のネットワークドライブ（UNC パス指定が可能で認証不要のこと）

書店等とのファイル利用/蔵書データテキスト読み込みについて

TRC 社 TOOLi-S から MARC ダウンロード、デリバリを行ったデータを読み込むことで、図書館での蔵書引当の必要がなくなり便利になります。

書店システム【本屋ツール】で作成したテキストデータを読み込むことで、図書館では蔵書引き当ての必要がなくなり便利になります。【司書ツール】での引き当てデータも同様に読み込みが可能です。

運用形態の確認と多様性

情報 BOX は 1 台のパソコンで運用することも、複数台のパソコンでネットワークを構築して運用することもできます。ただし、複数台で運用するためには、情報 BOX 校内追加ライセンスまたはまるごとパックの購入が必要です。追加ライセンスの購入することなく複数台で運用を行うことは使用許諾違反となりますのでご注意ください。

有償オプションのライブラリーサーチを利用すると台数の制限なく Web ブラウザで検索ができます。

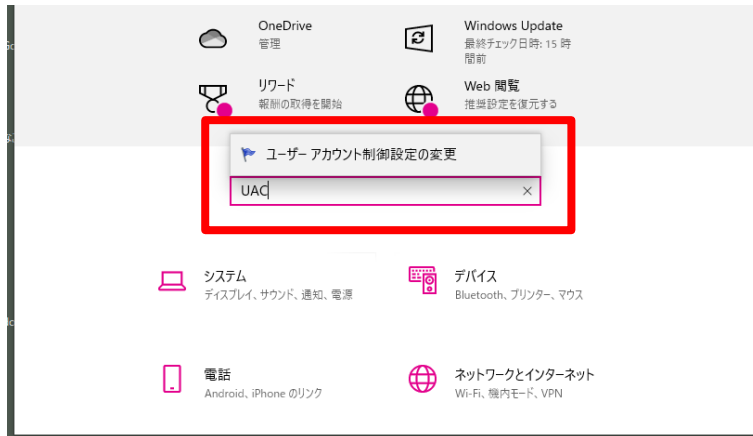
また、教育センター等にサーバーを設置し複数校のデータをまとめて運用することもできます。（別途構築検討が必要です。）

UAC 等無効化について

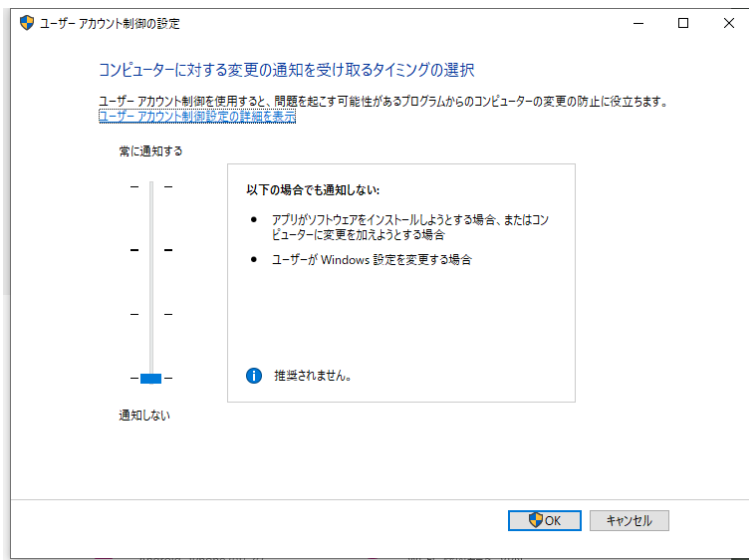
Windows Vista 以降の OS に実装されているユーザー・アカウント制御（User Account Control 以下 UAC）は、ウイルスや不正な操作、操作ミスなどによって、管理者権限が必要なプログラムなどが自動的にシステムにインストールされてしまうのを防ぐための機能です。この機能は通常は望ましいものですが、操作の妨げになるメッセージが現れる場合が多く、また UAC のせいでシステムの操作や設定作業などに支障をきたす場合があるので、本システムでは無効にして運用する必要があります。

例）Windows 10 における UAC の無効化手順

管理者権限を持つユーザー・アカウントで Windows にログオンします。次に [コントロールパネル] で [UAC] を検索します。



「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックします。



UAC の設定ダイアログ・ボックス

UAC の設定には 4 段階あり、デフォルトでは Windows に含まれないプログラムに対してオンになっています。完全に無効とするには、スライダのつまみを最下段まで下げます。その後、OK をクリックします。

重要なお注意

- 瞬快等の環境復元ソフトが導入されている場合は必ずシステム管理者に事前に確認して、適切なユーザー、環境でソフトのインストールを行ってください。環境復元ソフトではインストールフォルダ（デフォルト値 c:\¥Jbox）およびデータベースフォルダ（デフォルト値 c:\¥Jbox¥db¥PostgreSQL¥13.6）では復元を行わないように設定してください。
- 必ずそのコンピュータの管理者権限をもつユーザー（ローカル管理者）でログオンしてください。
- 他に PostgreSQL を利用したソフトがインストールされている場合はインストールできません。教育システム サポート窓口へご相談下さい。
- OS のアップデートが出来ていない PC ではインストールに失敗する場合があります。必ず Windows Update を行ってからインストールしてください。
- クラウド型のフィルタリングソフトがインストールされた環境でクライアント＆サーバ運用をされる場合、インストールマニュアル記載の設定をしていただいても子機から親機に接続できない、または瞬断が頻発しエラーが発生することがあります。c:\¥Jbox のディレクトリ（ディレクトリ指定できない場合は当該ディレクトリ内の全実行ファイル）のフィルタリング除外等の設定が必要となります。フィルタリングソフトの設定方法に関しては弊社ではお答えしかねますので、フィルタリングソフトメーカーにお問い合わせください。
- インストール時にエラーメッセージが表示され正常にインストールできない場合、アカウント名が日本語で作成されている可能性があります。
インストールに失敗した場合は、Microsoft の公式サイト【[Windows でローカルのユーザーアカウントまたは管理者アカウントを作成する](#)】のページをご覧ください、半角アルファベットのみのアカウントを作成して、インストールをお試してください。
※作成時の推奨ユーザー名は『user』です。
※インストール完了後はアカウントを消していただいて構いません。

セットアップと起動

はじめて情報 BOX をお使いになるお客様		1. からお読みください。 蔵書の登録が必要な場合は別紙「かんたん学校図書館電算化マニュアル」もご参照ください	
今まで情報 BOX をお使いのお客様	Ver7	今までお使いのコンピュータにインストール	4. にお進み下さい
		新たなコンピュータにインストール	3. にお進み下さい 続いて5. へ
	Ver6	今までお使いのコンピュータにインストール	4. にお進み下さい
		新たなコンピュータにインストール	3. にお進み下さい 続いて5. へ
	Ver5R2,3	弊社までお問い合わせください	
	Ver5R1		
	Ver4.5		

(お使いのバージョンがご不明な方は2. をご覧になり、画面から探して下さい)

1. はじめて情報 BOX をお使いになるお客様

「3. 新規インストール 1 台のコンピュータで運用する場合」からお読みください。

続いて「8. インストールの確認」「9. インストール後の設定」に進んでください。

蔵書の登録が必要な場合は「かんたん学校図書館電算化マニュアル」もご参照ください。

2. 今まで情報 BOX をお使いのお客様

2.1 VER.7 の場合

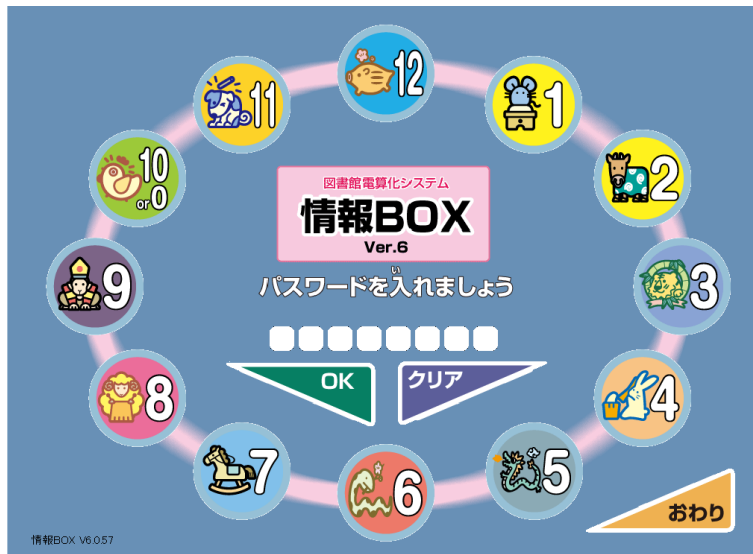


ログイン画面が木の幹に座る子供二人

- 今までお使いのコンピュータにインストール → 「4. VER.7 からのアップグレードの場合」
- 新たなコンピュータにインストール →
「3. 新規インストール 1 台のコンピュータで運用する場合」 →
「5. VER.7 からのデータコンバート」

続いて「8. インストールの確認」「9. インストール後の設定」に進んでください。

2.2 VER.6 の場合



ログイン画面が干支で青い画面

- 今までお使いのコンピュータにインストール → 「4. VER.6 からのアップグレードの場合」
- 新たなコンピュータにインストール →
「3. 新規インストール 1 台のコンピュータで運用する場合」 →
「5. VER.6 からのデータコンバート」

続いて「8. インストールの確認」「9. インストール後の設定」に進んでください。

2.3 VER.5R2/R3 の場合



ログイン画面が星座でオレンジの画面。左下のバージョン表記が小さい。→V5R2



ログイン画面が星座でオレンジの画面。左下のバージョン表記が大きい。→V5R3

このバージョンからは、コンバートプログラムは利用できません。

バックアップデータを、学校名、電話番号、ご担当者様の情報を明記の上、

ksinfo@gakkou.jp

宛に送付ください。

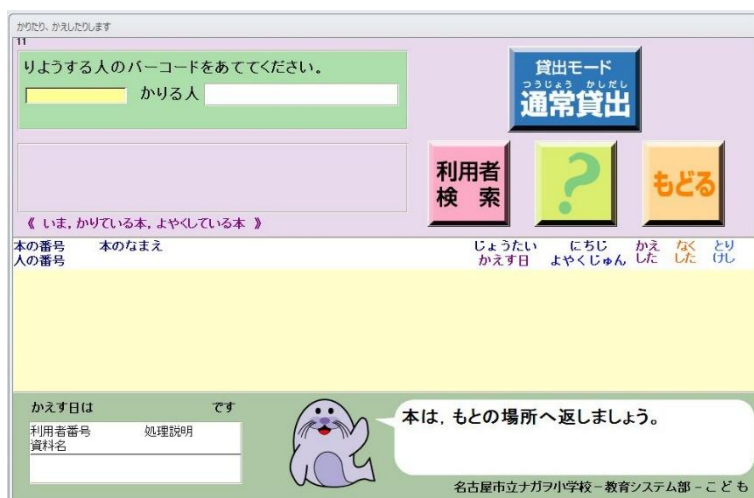
2.4 VER.5 R1 の場合



ログイン画面が星座でオレンジの画面。右上に校名が表示され、左下のバージョン表記が二段になっている。パスワード入力欄が8つに分かれていない。→V5R1

このバージョンからは、コンバートプログラムは利用できません。
バックアップデータを、学校名、電話番号、ご担当者様の情報を明記の上、
ksinfo@gakkou.jp
宛に送付ください。

2.5 VER.4.5 の場合



かびたり、かえしたります

りようする人のバーコードをあててください。

かりる人

貸出モード
通常貸出

利用者検索

?

もどる

《 いま、かりている本、よやくしている本 》

本の番号
人の番号

本のなまえ

じょうたい
かえす日

にちじ
よやくじゅん

かえ
した

なく
した

とり
げし

かえす日は

です

利用者番号

資料名

処理説明

本は、もとの場所へ返しましょう。

名古屋市立ナガヲ小学校 - 教育システム部 - こども

このバージョンからは、コンバートプログラムは利用できません。
 バックアップデータを、学校名、電話番号、ご担当者様の情報を明記の上、
ksinfo@gakkou.jp
 宛に送付ください。

3. 新規インストール 1 台のコンピュータで運用する場合

情報 BOX を起動するにはコンピュータにソフトをインストール（セットアップ）する必要があります。

正常にインストールできない場合、ほとんどの原因は、OS のバージョンとセキュリティパッチの問題です。コンピュータの動作環境及び UAC の無効設定を確認してください。

OS が不調な PC での運用は計画を変更して別の PC をご用意いただくか、Windows のクリーンインストール（HDD フォーマットまで）を行ってください。CPU 速度よりもクリーンな OS とメモリー増量が安定した動作の必要条件です。

CD-ROM ドライブに情報 BOX インストール CD を入れて開くと以下のフォルダの中に「情報 BOXV7.5_スタンドアロン版」と「情報 BOXV7.5_クライアント版」（追加ライセンスがある場合のみ）があります。

自動的に開かない場合は［コンピュータもしくは PC］ から CD ドライブ（DVD ドライブ）を選択してください。

フォルダ「Jboxv7.5_スタンドアロン版」を開いて下さい。

フォルダ内の



をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

次のようなメニューが現れます。



「情報 BOX のインストール」を行ってください。

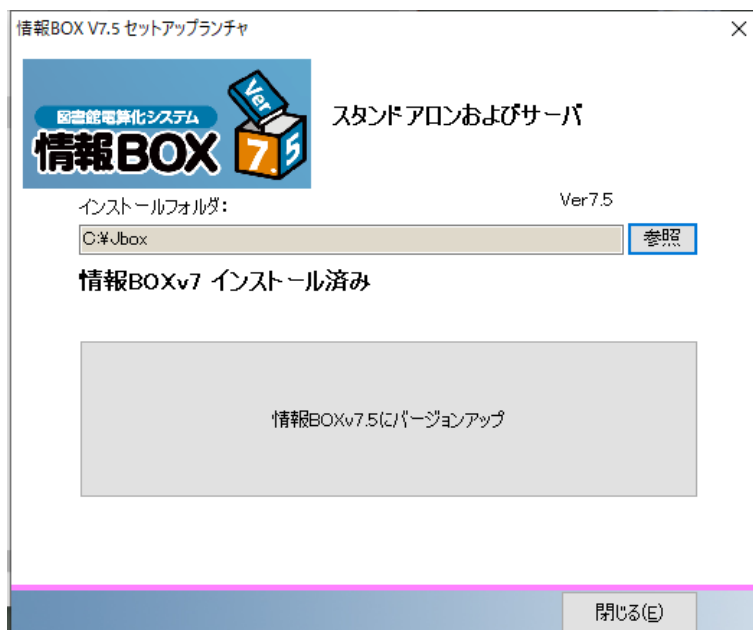
インストールが終わったメニューは薄く表示されクリックできなくなります。

続いて「8. インストールの確認」「9. インストール後の設定」に進んでください。

4. VER.7 からのアップグレード

既に情報 BOX Ver.7 をインストール済みの PC に Ver.7.5 をインストールされる場合、画面が異なります。

次のようなメニューが現れます。



V7.5 にバージョンアップをクリックしてください。

各種データベースや情報 BOX 本体のアップグレード作業を行います。インストール中はこの画面のまま数分かかります。

インストールが終了しましたら、続いて「8. インストールの確認」「9. インストール後の設定」に進んでください。

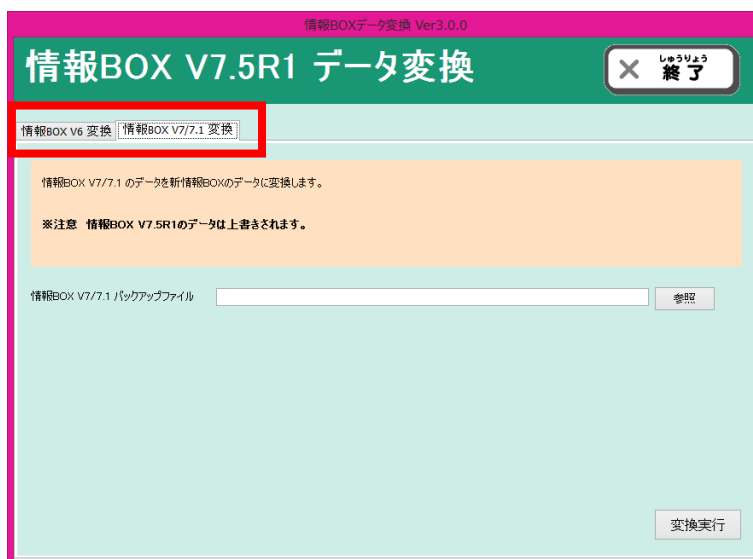
5. VER.7 からのデータコンバート

情報 BOX Ver.7 で取ったバックアップファイルを使用します（[システム管理] → [データバックアップ]）。

通常のインストールの場合、

C:\¥Jbox¥JBoxV7.5¥bin

に、DataConvert.exe がありますのでダブルクリックで起動します。



タブを「情報 BOX V7/7.1 変換」に切り替えます。

[参照] をクリックし、Ver.7 で取ったバックアップファイルを指定し、[変換実行] をクリックしてください。

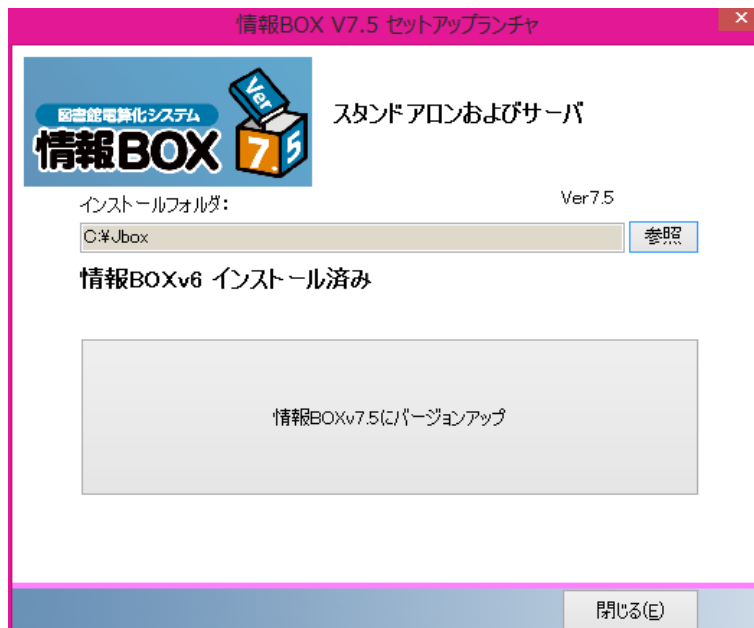
情報 BOXver.7.5 のデータは上書きされます。

続いて「8. インストールの確認」「9. インストール後の設定」に進んでください。

6. VER.6 からのアップグレード

既に情報 BOX Ver.6 をインストール済みの PC に Ver.7 をインストールされる場合、画面が異なります。

次のようなメニューが現れます。



「情報 BOXV7.5 にバージョンアップ」をクリックしてください。

各種データベースや情報 BOX 本体のアップグレード作業を行います。インストール中はこの画面のまま数分かかります。

インストールが終了しましたら、続いて「8. インストールの確認」「9. インストール後の設定」に進んでください。

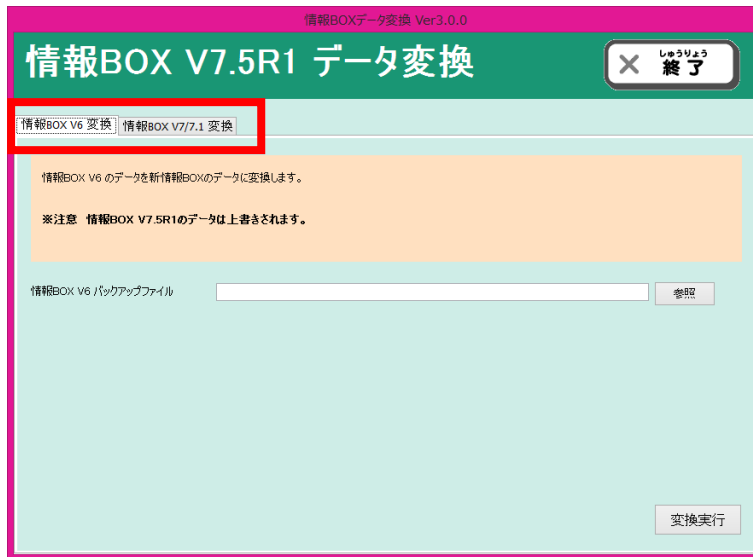
7. VER.6 からのデータコンバート

情報 BOX Ver.6 で取ったバックアップファイルを使用します（[システム管理] → [データバックアップ]）。

通常のインストールの場合、

C:\¥Jbox¥JBoxV7¥bin

に、DataConvert.exe がありますのでダブルクリックで起動します。



タブを「情報 BOX V6 変換」に切り替えます。

〔参照〕をクリックし、Ver.6 で取ったバックアップファイルを指定し、〔変換実行〕をクリックしてください。

情報 BOXver.7.5 のデータは上書きされます。

続いて「8. インストールの確認」「9. インストール後の設定」に進んでください。

8. インストールの確認

正常にインストールされるとコントロールパネルの〔プログラムと機能〕には一般的に以下の3項目が増えます。

- PostgreSQL 13.6
- PsqLODBC
- 情報 BOX V7.5

ソフトインストール後これらが表示されていない場合は正常にインストールできていません。多くの場合、OS のバージョンとセキュリティパッチの問題です。コンピュータの動作環境をよく確認してください。また、OS 自体の動作が不安定な PC での運用は不適です。

9. インストール後設定

ログイン画面

必ず教育システム発行の使用許諾証を準備して図書館コード、パスワードがわかるようにしておいて下さい。

情報 BOX を起動します。



デスクトップ上のアイコンをクリックするか

[スタートボタン] - [アプリ] - [情報 BOX V7.5]- [JBOX]をクリックすることで情報 BOX が起動します。

学校設定

データベースを選択してください。

接続サーバー設定

接続サーバー 接続確認

接続先サーバーを設定してください。(このマシンの場合は、必要ありません)
 「接続確認」をクリックしてください。
 正常であれば、下記の図書館コード、パスワードの設定が可能になります。

図書館設定

図書館コード

パスワード

設定
中止

初回は学校設定が表示されます。

接続サーバーに関しては、スタンドアロン&サーバーへのインストールの場合は空白のまま
 「接続確認」をクリックし、その後配布されております設定シートに記述された、図書館コードとパスワードを入力し、設定をクリックしてください。

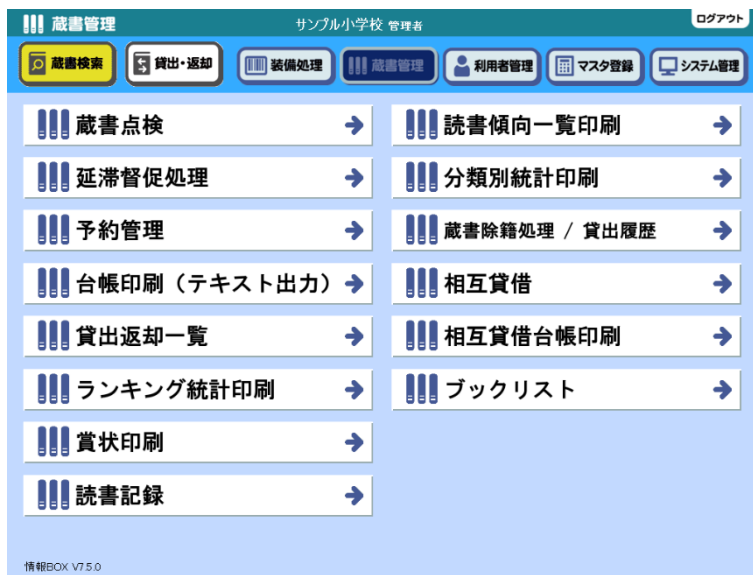
パスワードは大文字小文字を区別します。

追加端末にインストールする場合は、サーバー名の欄にデータベースプログラムをインストールしたPCの[ホスト名] または [IP アドレス]を入力します。不明な場合は必ずネットワーク管理者に確認してください。

ログイン画面が現れます。



初期の管理者パスワードは
 ① です。クリックまたはキーボードから1を入力して、「OK」をクリックしてください。以下のメニューが現れます。

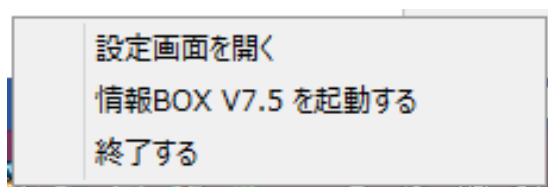


JBOX 運行管理 プログラム

運行管理プログラム（ランチャー）は情報 BOX のバージョンアップや自動起動設定、バックアップといった業務を制御するプログラムです。

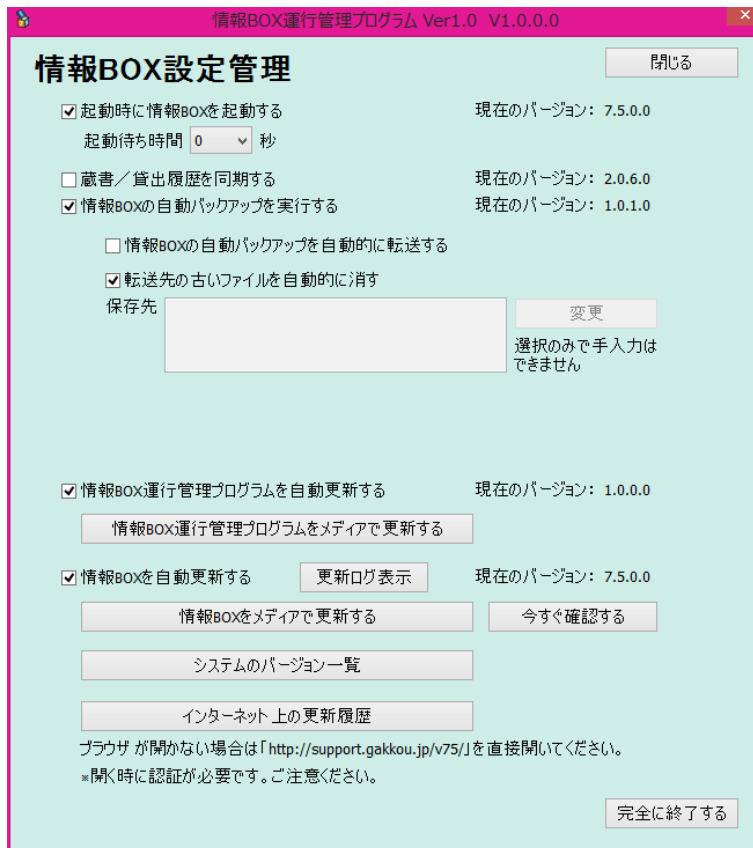


タスクバーの右端の常駐プログラム一覧にマークが現れます。これが情報 BOX 運行管理プログラム（ランチャー）で、情報 BOX の運用を司ります。このマーク上でマウスを右クリックすると



という画面がでます。

設定画面は以下の通りです。



自動起動について

☒ 起動時に情報BOXを起動する

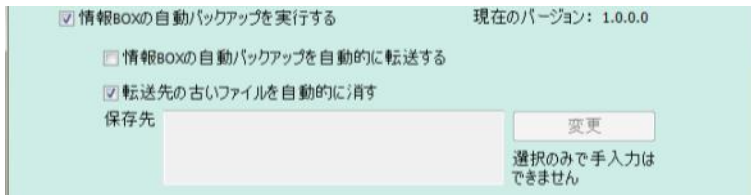
にチェックを入れると OS のログオン時に情報 BOX が起動します。図書館で利用する場合はこの機能が便利です。

自動起動させたくない場合はチェックを外してください。

起動待ち時間設定は、データベース起動前に情報 BOX が立ち上がってしまう場合、設定してください。

バックアップファイル自動転送について

情報 BOX 起動時に自動的にバックアップを作成し、そのバックアップファイルを保存先に指定したフォルダに転送（コピー）する機能を持ちます。



PC 本体が故障した場合、ローカルドライブ（C または D）に転送（保存）してあっても、無意味です。一般的な保存先にはリムーバブルディスクやサーバーのネットワークドライブを想定しております。

保存先の設定はエクスプローラーでの設定で行い UNC パスやドライブレターの直接入力ではありません。

また、認証済みのドライブへの保存ですから、予め ID PW で保存場所への書き込み権限があることを前提とします。

転送先の古いファイルを消すにチェックを入れると、以下のファイルを自動的に削除するので、そのドライブまたはメディアが一杯になることを防止できます。

※自動バックアップに関するご注意

この自動バックアップはあくまでトラブル時の復旧作業用の補助機能です。自動バックアップに失敗した際の対策は取られていません。各年度や学期での**手動バックアップ**は必ず実施して下さい。

自動バックアップのタイミングに関しては動作中に自動的に行われ、バックアップタイミングの調整はできません。また、自動バックアップは起動後に実行され、自動転送は 20 秒後に実行されます。

短時間 20 分以下の起動時間ではバックアップファイルの作成や自動転送は行われません。

ご注意ください。

Jbox のインストールフォルダ内、C:¥を例にすると、

C:¥Jbox¥JBoxV7.5¥bin¥UserData¥AutoBackup

に、情報 BOX 起動後に保存されます。これらは、データ保存時に同じ月の直近 7 日間以外のバックアップファイルを削除します。

「自動バックアップファイルが失敗した可能性があります」というメッセージは同フォルダ内のバックアップファイルが 5KB 以下で生成された場合に表示されます。起動のタイミングやネットワークの接続状況などにより稀に発生することがあります。

AutoBackup フォルダ内の当日作成バックアップを削除し、再起動し正しくバックアップファイルが生成された場合、表示は消えます。

バックアップファイルの自動転送ルール

バックアップファイルの自動転送はランチャー（情報 BOX 運行管理プログラム）が常駐している場合にのみ動作します。定期的に保存先を監視して「今日作成したバックアップファイル」の転送を試みます。リムーバブルディスクを指定した場合は、必ずメディアにアクセスできる状態にしたままでお使い頂くことをお勧めします。またメディアを取り外す場合は、必ず「メディアの取り扱い説明書に指定された方法」で取り外してください。USB メモリ等でバックアップ処理を行っている最中に抜き取った場合は、USB メモリのデータを喪失させる場合があります。ご注意ください。

削除されるファイルのルール（転送先）

削除はシステムが自動的に付けたファイルが対象です。

バックアップファイル名は「JboxV75R1_yyyymmddHHMMss.jzp75」となっており「yyymmdd」が年月日で 2016/4/1 であれば 20160401 の様になります。「HHMMss」は時刻で 24 時間表示になっています。

自動削除は、同じ月の直近 7 日以外のバックアップファイルが対象になり、8 日間分のバックアップファイルが保存されます。9 日目のバックアップファイルを作成時にその月の一番古いバックアップファイルが削除されます。

ネットワーククライアント追加の設定

追加ライセンスを取得済みであれば、校内 LAN 上に情報 BOX の端末を追加して、複数台の端末を同時に使用することができます。

たとえば図書室が2つある学校や、職員室で読書傾向が見たい、図書準備室で作業を行いたいといった用途に適します。

1 台目のコンピュータにはデータベースソフトとアプリケーションソフトがインストールされており、アプリケーションソフトは同じ PC で動作するデータベースソフトのデータにアクセスします。2 台目の PC にはアプリケーションソフトだけをインストールし、1 台目の PC で動作するデータベースソフトのデータにアクセスするようネットワークの設定を行います。

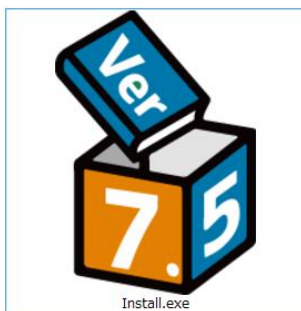
CD-ROM ドライブに情報 BOX インストール CD を入れて開くと以下のフォルダの中に「スタンドアロン版」と「クライアント版」（追加ライセンスがある場合のみ）があります。

自動的に開かない場合は［コンピュータもしくは PC］から CD ドライブ（DVD ドライブ）を選択してください。

フォルダ「クライアント版」を開いて下さい。

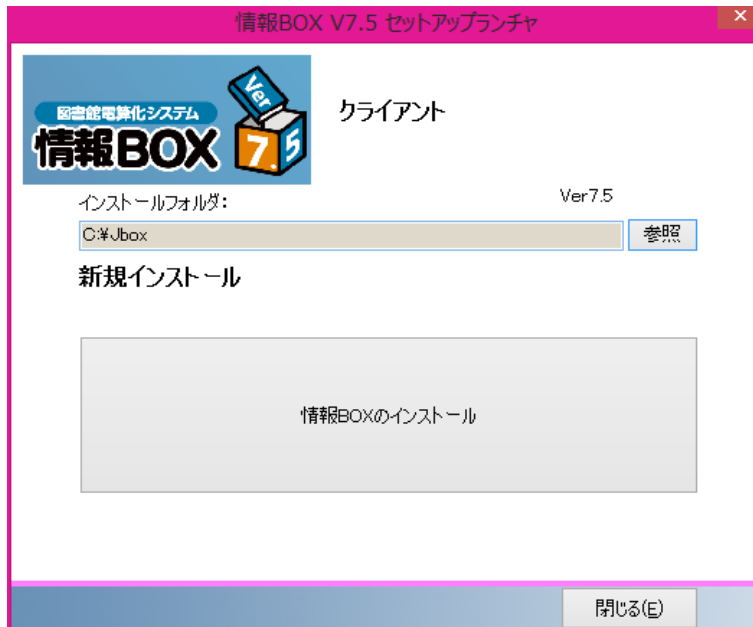
CD-ROM がクライアントインストール専用である場合はクライアント版のみが表示されます。

フォルダ内の



をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

次のようなメニューが現れます。



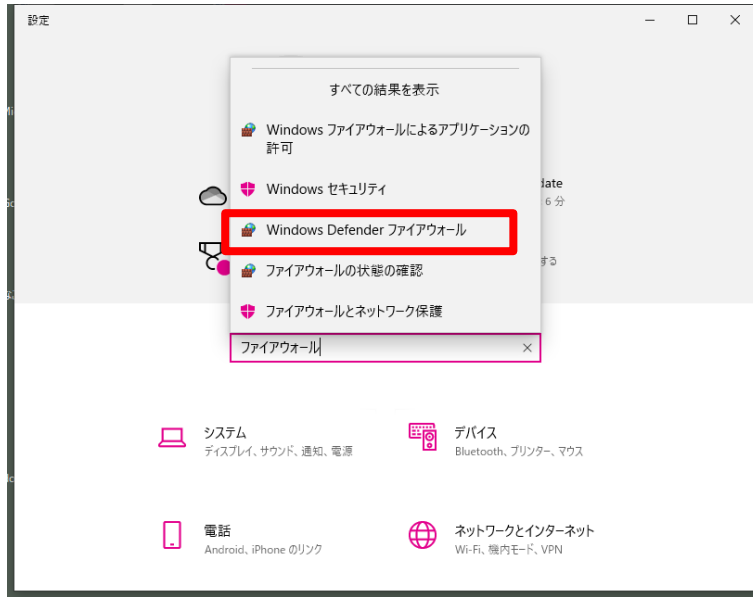
インストール方法はスタンドアロン&サーバプログラムと同様ですが、[データベース再接続]作業が必要になります。（リファレンスマニュアル参照）

複数台利用時の、親機ファイアウォール設定

サーバーとして動かす PC でパーソナルファイアウォールが働いていると通信できません。通信ポート（port）は「5432」を使います。ファイアウォールではポートを開けてください。

ポート開放手順（Windows10 の場合）

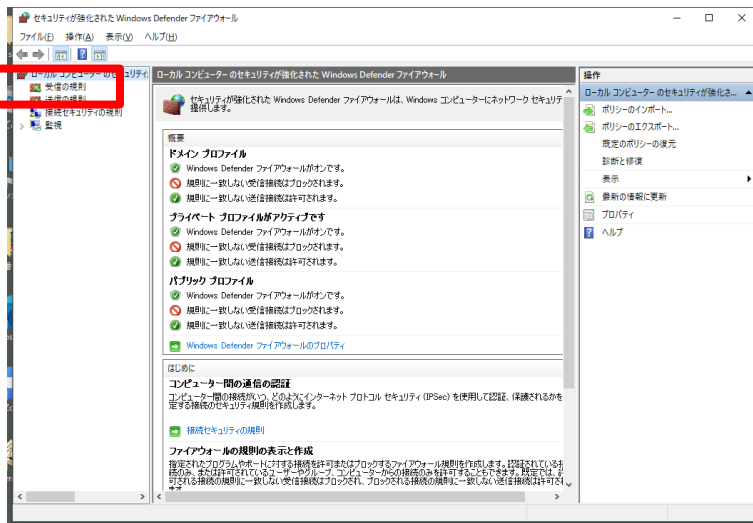
- 1) コントロールパネル → システムとセキュリティ → Windows Defender ファイアウォール
 もしくは、[設定] から「ファイアウォール」で検索し、Windows Defender ファイアウォール



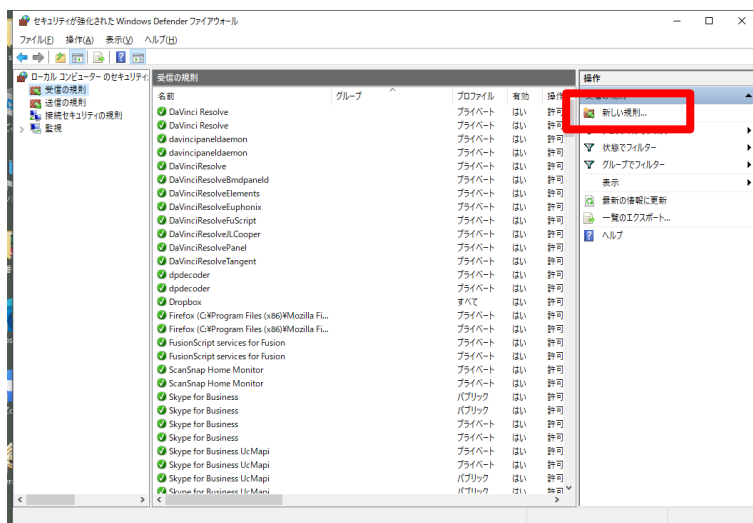
2) 左側「詳細設定」をクリック



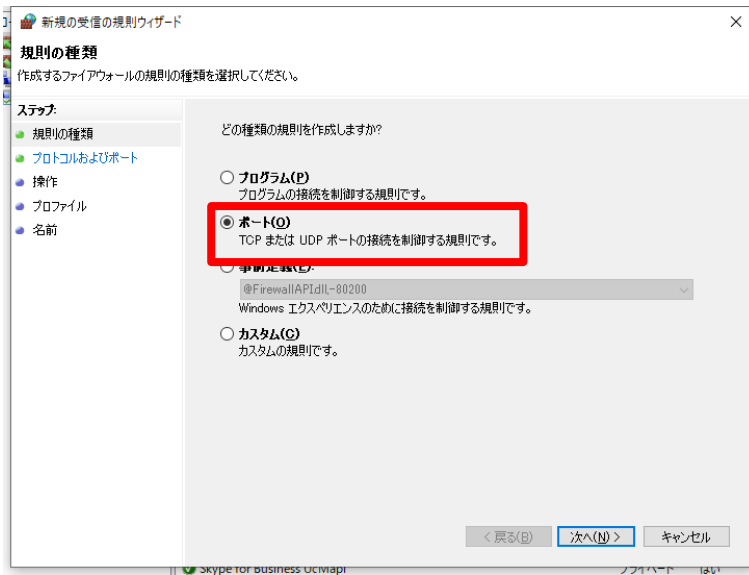
3) 左側「受信の規則」をクリック



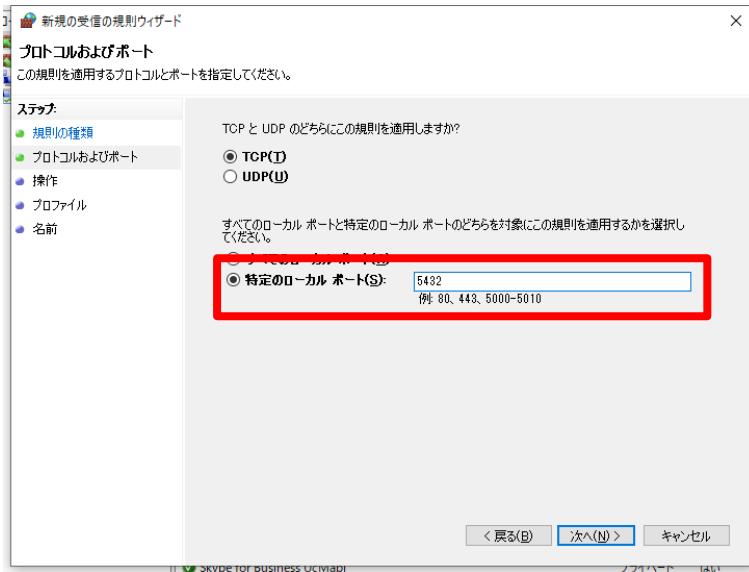
4) 右側「新しい規則」をクリック



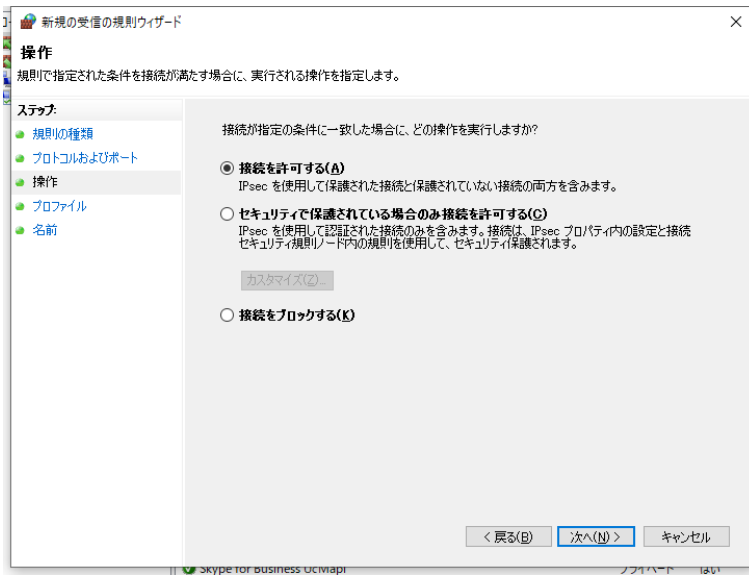
5) ポートをクリック



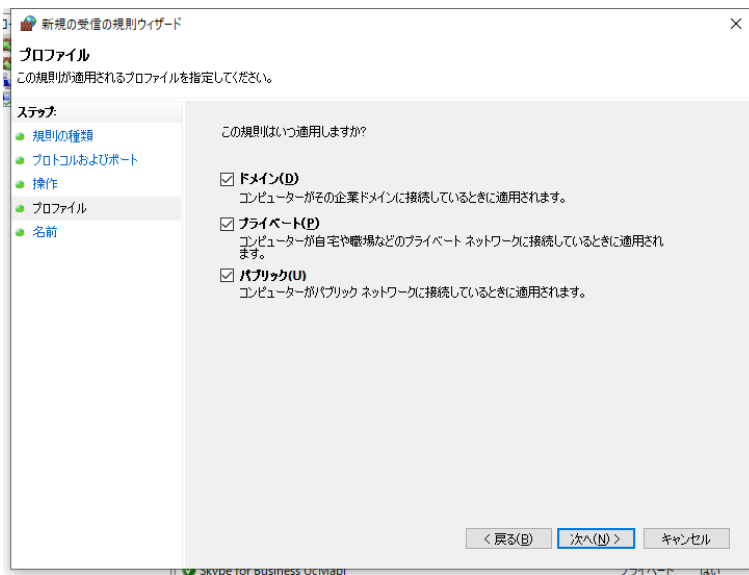
6) 特定のローカルポートをクリックし、「5432」と入力



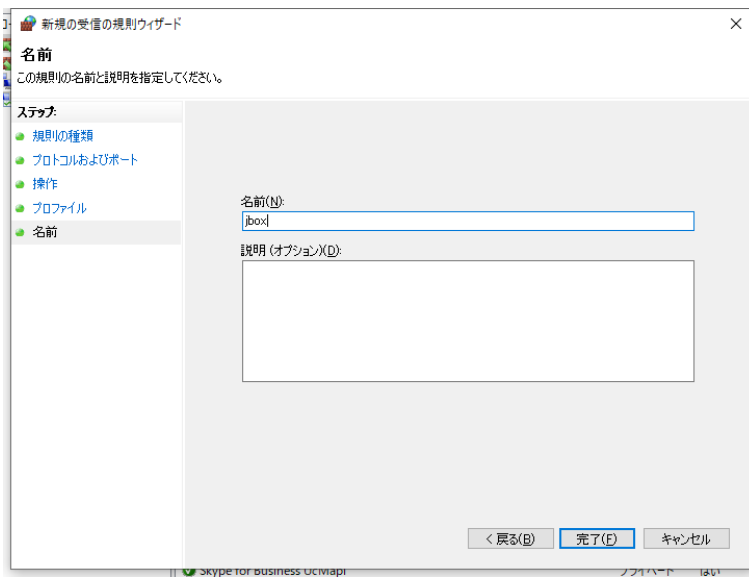
7) 接続を許可するをクリック



8) いずれもチェックを入れたまま次へ



9) Jbox など適切な名前をつけて、完了



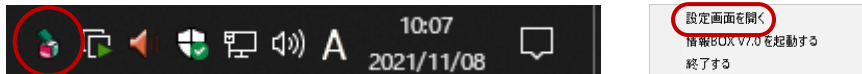
ネットワークでの使用に関して重要なご注意

- ファイアウォールは WindowsOS、ウイルス対策ソフトの両方に機能があります。両方確認してください。
- WindowsUpdate やウイルス対策ファイルの更新で、空けてあるはずの通信ポートが閉じてしまうことがありますので通信出来ない場合はその点にご注意ください。
- 必ず教育委員会、学校内のシステム管理者にお問い合わせの上行ってください。

ライブラリーサーチ同期設定

ライブラリーサーチをご利用いただくには、情報 BOX にライブラリーサーチを使用するための設定をしていただく必要がございます。以下手順の通り、ライブラリーサーチの同期設定を行ってください。

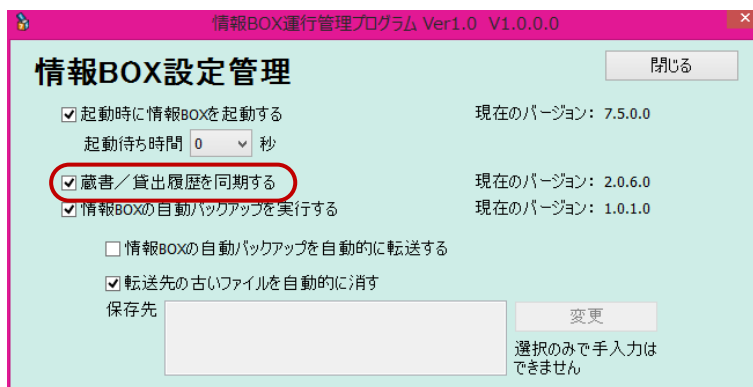
JBOXLUNCER の設定



情報 BOX が起動している場合は一旦終了し、画面右下の「通知領域」に表示されている

「jboxLuncer」の上でマウスの右クリックボタンを押下し「設定画面を開く」を選択します。

次に、「蔵書/貸出履歴を同期する」にチェックを入れ、「閉じる」を選択し画面を閉じます。



情報 BOX の設定

情報 BOX を起動し、「システム管理」[ネットワーク設定]の順に画面を開き、「ライブラリーサーチを使う（お申し込みの方のみ）」にチェックを入れ、「設定」を押下します。

ネットワーク設定

コンピュータの通信環境の設定を行います。

? ヘルプ 戻る

学校環境に合わせて通信条件の設定を行います。
この画面はシステム管理者、もしくはシステム管理者の指示に従ってネットワークの知識のある方が設定を行ってください。

インターネット接続設定

MARC 引当 URL

同期 URL

テストURL

通信プロトコル ☒ ライブラリサーチを使う(お申し込みの方のみ) ☐ 自機で同期する

Proxy利用 ☐ する ☒ しない

Proxy設定

Proxyアドレス

Proxyポート

☐ BASIC認証を使用する ユーザ名

パスワード

設定

通信テスト

テスト項目

☒ テストページ接続

☒ MARC検索サーバー接続

☒ ライブラリサーチホームページ接続

☒ パーフォマンスサーバー接続

☐ 蔵書同期データ送信テスト

ご注意

ライブラリサーチをご契約の場合は必ず、全項目のテストをおこないます。

次に、[システム管理] [ライブラリサーチ同期] の順に画面を開き、「自機で同機する」にチェックを入れ「設定変更を反映する」を選択します。

ライブラリサーチ同期

ライブラリサーチデータの通信状況を確認します。

? ヘルプ 戻る

ライブラリサーチの契約がある学校様は「自機で同期する」にチェックを入れてください。
複数台で使用している場合は、戦機のみでチェックを入れてください。

同期設定

☒ 自機で同期する

同期処理は一度おこなった時点で中止することができないため設定変更を行ってもすぐに止まらない場合があります。
すぐに同期が停止しない場合でも異常ではありません。(通信状態により10分以上かかる場合があります)

同期状況

同期ステータス		近1年の実行同期状況		蔵書同期状況	
同期状態	自機同期なし	総件数	0	総件数	0
同期サイズ	1MB	未同期件数	0	未同期件数	0
同期時刻	-----	同期済件数	0	同期済件数	0
実行番号	0				

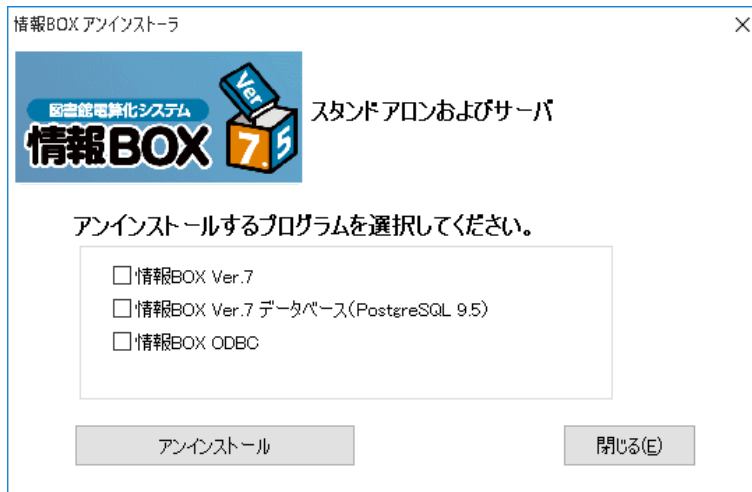
同期状況の表示はリアルタイム表示ではなく一定時間毎の更新です。表示に直ぐに反映されません。
また、同期件数は同期システム(同期専用の別プログラム)が一定間隔で複数の蔵書を一度に行うため数字が刻々と変化します。5~10分程度の時間経過で数字が変化しない場合もありますので必ず10分程度の時間経過を見て下さい。
同期サイズは同期時に送るデータサイズの日安で成功したサイズではありません。また、1MB以外の場合はネットワークに何らかの制限がある可能性があります。

情報 BOX のアンインストール

PCの移動などにもなうアンインストールについては以下の手順でお願いいたします。

管理者権限を持つユーザー・アカウントでWindowsにログインします。

インストールドライブ内の jbox フォルダの中に「Unins」フォルダがありますので、その中の「Unins.exe」をダブルクリックしてください。



- 情報 BOX Ver.7.5
- 情報 BOX Ver.7.5 データベース (PostgreSQL13.6)
- 情報 BOX ODBC

からアンインストールしたいプログラムを選択し（すべてでも可）、[アンインストール] をクリックしてください。

アンインストール後に、インストールフォルダが残る場合がございます。その場合は、手動にて、

C:\¥jbox

を必要に応じて削除してください。

お問い合わせ先

こどもを、みらいを、考える。

株式会社 教育システム

本社総務部・経理部（支払）

〒489-0054 愛知県瀬戸市道泉町 76 番地の 1 瀬戸 SOLAN 学園内

丸の内オフィス営業部・テクニカルサポート部・経理部（納品請求）

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3 丁目 18-28 KS ビル

Tel : 052-950-2888 Fax : 052-308-1962

E-Mail : ksinfo@gakkou.jp

URL : <https://www.gakkou.jp/>

サポート窓口 Tel:050-3533-3642

営業時間 9 : 00 ~ 18 : 00

土日 祝日 お盆期間及び年末年始は休業です。

営業日カレンダーは Web サイトでご確認ください。